

# かとり議会だより

市政のここがきたい…………… P2～P4  
 決算審査特別委員会から…………… P5～P7  
 各常任委員会の審査から…………… P8～P9  
 議会改革検討特別委員長報告…………… P9  
 引き続き「議会改革検討特別委員会」を設置…………… P9

辞職勧告を決議…………… P9  
 二つの意見書を政府関係機関に提出しました…………… P9  
 上程議案等議決結果…………… P10  
 8月21日 臨時会…………… P10

第15号

平成21年11月15日



栗源のふるさといも祭（今年は11月15日開催）

## 9月定例会の日程

- 2日(水) 本会議
- 4日(金) 本会議
- 7日(月) 決算審査特別委員会
- 8日(火) 決算審査特別委員会
- 9日(水) 決算審査特別委員会
- 11日(金) 総務企画常任委員会  
福祉教育常任委員会
- 14日(月) 建設常任委員会  
経済環境常任委員会
- 17日(木) 本会議（一般質問）
- 18日(金) 本会議（一般質問）
- 25日(金) 本会議

今期定例会は9月2日に招集され、開会后、会期を25日までの24日間と決定。その後、歳入歳出予算に16億3976万9千円を追加し、補正後の総額を302億5905万8千円とする一般会計補正予算、条例の一部改正、工事施行協定の締結（成田線佐原駅駅舎合築工事施行協定を東日本旅客鉄道株式会社千葉支社と締結）、財産の取得について（防災行政無線戸別受信機1473台）など14議案、平成20年度各会計決算に係る13認定、人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める6諮問、平成

20年度決算による香取市の財政健全化判断比率など2報告を議題とし、市長より提案理由が述べられました。その後、「議員吉川昭治君に対する辞職勧告決議について」（9頁に掲載）の発議案第1号が6名の議員から提出され全会一致で可決されました。

25日は初めに、香取市農業委員会の議会推薦による委員4名の推薦を行い、その後、議案第1号から第14号を議題とし、各常任委員長から委員会における審査内容・結果が報告され、いずれも原案のとおり可決されました。

次に、平成20年度各会計決算に係る認定第1号から第13号を議題とし、決算審査特別委員長から委員会における審査内容・結果が報告され、1名の議員から討論があり、いずれも原案のとおり認定されました。

次に、請願第294号、第295号、陳情第36号から第39号の6件を議題とし、福祉教育常任委員長から委員会における審査内容・結果が報告され、1名の議員から討論があり、請願第294号、第295号は採択、陳情第36号から第39号については不採択とすることに決しました。

次に、「議会改革検討特別委員長報告」があり、1名の議員から討論があり、賛成全員で委員長報告（報告の要旨を9頁に掲載）のと

## 9月定例会

# 一般会計補正予算・平成20年度決算など 37議案を可決・同意・認定

## 女性特有のがん検診を特定の年齢を対象に無料化

平成21年9月定例会は、9月2日（水）から25日（金）までの24日間にわたって開かれました。本定例会には、一般会計補正予算案など議案14件、平成20年度各会計決算に係る認定13件については、8人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置して付託、いずれも原案のとおり可決・同意・認定されました。

25日は初めに、香取市農業委員会の議会推薦による委員4名の推薦を行い、その後、議案第1号から第14号を議題とし、各常任委員長から委員会における審査内容・結果が報告され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、諮問第1号から第6号の各人事案件は、いずれも同意されました。

次に、平成20年度各会計決算に係る認定第1号から第13号を議題とし、決算審査特別委員長から委員会における審査内容・結果が報告され、1名の議員から討論があり、いずれも原案のとおり認定されました。

次に、請願第294号、第295号、陳情第36号から第39号の6件を議題とし、福祉教育常任委員長から委員会における審査内容・結果が報告され、1名の議員から討論があり、請願第294号、第295号は採択、陳情第36号から第39号については不採択とすることに決しました。

次に、「議会改革検討特別委員長報告」があり、1名の議員から討論があり、賛成全員で委員長報告（報告の要旨を9頁に掲載）のと

## 可決された主な議案

**議案第1号** 平成21年度香取市一般会計補正予算（第4号）  
 歳入歳出それぞれ16億3976万9千円を追加し、補正後の総額を302億5905万8千円とするもの、主な内容は、山田区及び栗源区のバスを更新するため、循環バス運行事業1590万円、子育て応援特別手当支給事業7111万3千円、十二橋駅前及び小見川駅前のトイレ改築・改修のため、公衆便所整備・改修事業2000万円、失業者スキルアップ補助金150万円、園芸王国ちば産地強化支援事業補助金等4710万9千円、観光及び産業の新鮮な情報を提供する電子看板を市内5カ所に設置する委託料等4898万3千円、道路維持費に1億8024万円、道路新設改良費に1億3478万2千円、小学校・中学校総務管理費に、地デジ対応テレビ及び電子黒板の整備費等1億374万9千円、佐原小学校屋内運動場耐震改修事業9882万6千円、山田中学校大規模改修事業（太陽光発電装置の設置及び屋上防水工事）4515万円、小見川スポーツコミュニティセンターの隣接地にスポーツイベントの交流広場整備事業2648万円など。

**議案第10号** 香取市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

緊急少子化対策として、今年の10月1日から平成23年3月31日までの間、出産育児一時金の支給額を35万円から39万円に引き上げるもの。

**議案第14号** 財産の取得について

防災行政無線戸別受信機1473台を購入するに当たり、指名競争入札を行った結果、千葉市中央区都町1254番地6 スイス通信システム株式会社、3588万2280円で落札した。

防災行政無線は、「電波法関係審査基準」に基づき、旧市町で異なっていた周波数を一つに統一しなければならぬことから、旧3町の戸別受信機を今年度から平成26年度までの6年間で、受信可能な機種に順次交換する。本年度は、小見川区東地区及び南地区並びに栗源区の戸別受信機の更新分のほか、新規貸与分についても購入するもの。

おり決しました。その後、最後に、引き続き委員8名で構成する「議会改革検討特別委員会」を設置し、理由が述べられ、原案のとおり可決されました。

# 一般質問

# 市政のこころがききたい。

一般質問は、市長などに市政全般について疑問点や方針などをただすものです。9月定例会市議会では9月17日・18日の両日に行われ、あわせて9人の議員が質問に立ちました。

ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

## 成田空港(株)は共同アンテナの地デジ改修に負担をすべきです

宇井正一 議員

**問** 成田国際空港株式会社設置による共同アンテナの地デジ対応では、地域対策費として助成金を出すべきではないのか。

**答** 撤去する際の費用を共働組合に移管することを要望している。



第一山倉小学校

**問** 栗源地区の沢小学校・高萩小学校の跡地利用は地元の意見をくみ上げずすすめていると思うが何か。

**答** 住民団体を始めとした民間が主体となった活用、地域振興を図る活用を基本に検討を進めていく予定である。

**問** 国は、生活困窮者の国民健康保険世帯に対して、病院での窓口負担をただにするか、負担を軽くするよう通達を出しました。香取市としての方針は何か。

**答** 減免制度についての規定等が定めていないので、制定に向け早急に検討したい。

**問** 小見川区・山田区への指定ゴミ袋の導入については、地元の議員ともしっかり話し合いを持つべきではなかったか。

**答** 香取市全域のごみ袋の統一の問題等の調整に時間がかかり、説明が遅れてしまった。今後は事前に説明できるように努力したい。

**山倉小と一山小の統廃合については見直しをすべきでは**

**問** 山倉小学校と第一山倉小学校との統廃合は、地元の関係者の反対の声が強い。見直す必要があるのではないのか。八都第二小学校の統廃合問題については、地元説明会を開催すべきではないのか。

**答** 急激な変化が生じないことに配慮し、適

## 指定管理者制度を利用する目的と市民サービスについて

小川春雄 議員

**問** 制度利用の目的と市民サービスの向上、コスト削減の効果について、どのようにあらわれているか。

**答** サービスの向上が図られ、施設等の利用

正配置の方法を選び学校適正配置計画実施プラン(案)としたもので、理解が得られるよう、努めたい。また、説明会については、要望等があれば説明に伺いたい。

**山田区・栗源区への都市計画税導入はするな**

**問** 都市計画マスタープランが策定されたら、山田区・栗源区に都市計画税を導入することになるのか。

**答** 慎重に政策税制のあり方を総合的に検討したい。

**問** 佐原駅舎合築工事では、総工費約6億円の内の、市の負担額は5億円強であるが、納得がいかな

**答** 他の駅の整備事例も以下であり、約9割以上を地方公共団体が負担しているのが実情である。

の減員となっている。

**問** 今後の制度導入計画は、また、そこに働く人(保育士、介護士)などの待遇はどのようなものか。

**答** 「水の郷さわら」は決定している。また、福祉施設や体育館なども視野に入れて検討している。

**問** 特別支援教育に関する指導力の向上に努めている。

**問** 障害者福祉(自閉症を持つ子)等の教育の取り組み方は

**問** 普通学級にいる、障害を持つ子供の教育を担当する先生と特別支援教育コーディネーターとの協議や連携は取れているのか。

**答** 担当指導主事が児童、生徒とその状況を把握して、指導内容や指導方法における問題点と改善策を指導している。

か。

**答** 専門家による巡回指導あるいは特別支援コーディネーター研修会、支援員研修会を実施している。

**問** 千葉県教育委員会で作成しているマニュアルを参考にしているのか。

**答** 特別支援教育に関する指導力の向上に努めている。

**問** 修学旅行に行けなかった子は何人いるのか。

**問** 児童1名、生徒2名と把握している。

**問** 小・中・高校と進学しているのか。

**問** 障害児のなかで健常児と共に過ごす環境が整っているのか。

**答** 香取市独自として、特別支援教育を継続していきたく。

## 子育て支援の充実について

田代一男 議員



乳がん検診無料クーポン券

負担制度の中で対応していきたい。

**問** 平成21年度補

正予算に盛り込まれた今年度の「子育て応援特別手当」の①対象者数②支給総額③周知方法はどうなっているのか。

**答** ①1900人②見込んで③0人と見込んでいる。

**問** 妊婦健診14回分の国庫補助が平成22年度までとされているが、その後の公費負担の継続は、少子化対策の上からも必要と考えるが、香取市の取り組みはどうなのか。

**答** 平成23年度以降の継続については、関係機関等の動向を踏まえ、方針を検討したい。

**問** 母子手帳発行前の妊婦判定時の妊婦健診に公費負担を適用できないか。

**答** 県内に、妊婦判定受診料を補助している自治体はない。現状の公費

**問** 女性特有のがん検診受診率の向上について

**答** 香取市における、女性特有のがん検診推進事

業について①検診手帳及び

子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券の発行・配布はいつか。②対象者数は何人か。③それぞれの受診施設は何処になるのか。

①8月28日に無料クーポン券を送付した。②乳がん検診で2981人、子宮頸がん検診で2270人が対象である。③市内では根本病院が乳がん、木村病院が子宮がん、県立佐原病院が乳がんと子宮がん

業について①検診手帳及び子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券の発行・配布はいつか。②対象者数は何人か。③それぞれの受診施設は何処になるのか。

となつている。

### 高齢者福祉について

香取市の高齢化率が26%を超える中、介護認定を受けていない高齢者が病氣や怪我で生活に支障を来たした時に派遣されるヘルパーの派遣回数を週2回以上にできないのか。

どうしても必要な状況の方には、利用回数を増やせるよう検討したい。

## 合併後の検証と均衡ある発展に向けた公共施設の整備とは

河野節子 議員

香取市として合併後3年間の検証はどのようにしてきているか。

合併がどのような効果や影響を与えたのかを調査し、中間的な合併の検証を本年度中に取りまとめたい。

合併前の協定項目について現状は。

新市建設計画や合併協定書の事務事業の進捗状況、市の指標など各種資料等に基づき推移等を調査する行政内部的な事項と、市民懇談会やアンケート等を行い直接市民の意見を聞いて検証をしたいと計画している。

合併によるメリットとして評価できる点は何か。

市民の利便性や行政サービスの向上、広域的なまちづくりや地域のイメージアップ、行財政の



小見川文化会館(休館中)

施設と位置付けている。

利用者の範囲を想定しているか、地域の賑わいも街地活性化も目的とした集客力のある施設を想定しているか。

一番便利な施設となるよう、市を挙げて検討している。

特別債事業に

この市民座談会は、香取市社会教育施設等の適正な配置と整備についての説明、それに対する市民との意見交換会であったことから、企画部門が参加しなかったが、情報は共有している。

今進めている香取東コミュニティセンターの位置付けは。

行政サービス・教育・学習・市民活動等の諸機能を集約した総合的な

企画政策課は、市全体を把握した上で均衡のとれた地域振興策とそれに基づいた公共施設の整備計画を立てるべきところ、旧小見川文化会館についても市全体の事業(以前の市長答弁)と把握するならば、第二市街地、文化交流ゾーンとしての小見川区にどのような施設が必要とされているか検討されなければならないが、市民座談会に企画部の出席がないのはなぜか。

## 地上デジタル放送について

伊藤友則 議員

地域説明会の、①これまでの実績と②今後の日程詳細、ならびに③説明内容は。

①延べ20回の説明会を実施した。②山倉地区など6地区で説明会が決定している。今後、区ご

測定しているか。また②測定位置に対するルールは設定しているか。

①測定車を使用し、高さ10メートル、20素子のUHFアンテナを用い、道路上で測定をしている。②地形条件を勘案しながら、おおむね10軒に1ポイントの頻度で調査をしている。

2軒以上で構成する共聴組合をつくることと完全に網羅できない場合、市としてどう主導するか。

市は説明会をはじめNHKアイテック等と連携し、早期設立に努力したい。

共聴組合の設立から改修までNHKの関連会社であるNHKアイテックによる無料の支援を受けることになる。工事請負業者は、この手続きの中で組合が決定することになる。

設置時ならびに維持するコストは、どのくらいか。この事業において市は、NAA側の方針に従順する立場か、あるいはきちんと指導し、住民意見を取り入れていく所存か。

改修費は、NHKの放送受信料を支払っている世帯では7千円、維持コストは1世帯当たり月額で約千円程度かかると試算している。NAAに対しては、市民の立場に立って意見を述べ、これからも地域共生の観点から支援の要望を行っていききたい。

今後、期限に間に合わない事情や、集落の状況を把握し、適切に対応し、説明されていくことを要望するが、貸付金や支援体制を具体的に各区に示しては、どうかと考えるが、いかがか。

国策として進められては市独自で貸し付けを行うような制度や金銭的な面での支援は考えていない。国及び放送事業者へ各種補助制度等支援策の拡充を要望したい。

地上デジタルテレビ放送 佐原中継局

## 香取市の観光振興対策について

高木 寛 議員

香取市は近年、「小江戸さわら」に代表されるように、大変観光客が増加している。①市全体及び観光施設別の観光客数や②その経済効果、③また課題は何か。

①平成20年中の観光入込客総数は650万3千人で、施設別に香取神宮の227万6千人、くりもと紅小町の郷の89万5千人、小野川沿いのまち並み52万4千人である。②旅行総消費額は127億7000万円と推計される。③第1に観光客の滞在時間の延長。第2に観光施設の整備・充実。第3に市内全域への回遊性の確保が挙げられる。

私は香取市の観光を農業と共に、市の基幹産業に育成し、市の発展や活性化を図りたいと考えている。市当局の今後の観光振興対策は。

第1に滞在型観光の促進。第2に観光施設の整備。第3にまちづくり型観光の推進を考えている。



城山公園(小見川区)

香取市の幹線道路の整備について

小見川区内の国道356号は道路幅も狭く、また交通量も多いので大変危険である。そこで一刻も早い「津宮〜小見川大橋バイパス」の完成が望まれるが、今後の整備計画は。

一般国道356号整備促進期成同盟を通じて、県へ積極的に働きかけをしたい。

主要地方道成田小見川鹿島港線は、成田空港と鹿島臨海工業地帯を結ぶ国の大動脈である。その渋滞解消の切り札となる小見川区「竜谷バイパス」の今年度の整備予定は。

県においては、道路改良工事や用地買収

を進めている。

**問** 小見川区野田栄町、木内地先の旧神里県道(現在の市道1-36号線)は、近年住宅や大型商業施設などができ、大変混雑している。今後の整備計画は、

**答** 常に厳しい財政状況の中で、限られた財源を有効に活用して市民福祉の向上を図ってきたところであり、今年度は合併後から4年間の検証を進めている。引き続き、あと7カ月の任期、全力を挙げて諸施策を推進したい。

**問** 香取市長に就任してから現在までの行政

**答** 歩道の整備は必要であるとして認識している。次期整備計画の見直しの中で位置づけ等を検討したい。

**宇井市長の政治姿勢について**

**問** 香取市長に就任して

**答** 歩道の整備は必要であるとして認識している。次期整備計画の見直しの中で位置づけ等を検討したい。

### 子供医療費助成を、中学卒業まで目標に拡大したい(市長)

坂本洋子 議員

**問** 子育て支援策の柱である医療費無料化の

**答** 制度の整備⑥障害者控除認定は該当者に通知を。

**問** ある医療費無料化の拡大が県内で広がっている。子育て世代を励まし、病気の早期発見、早期治療、子供の心身の健やかな発達を願う制度の拡充を求める。

**答** ①県内で最も低い金額設定である。②第4期計画で増床を見込んだ計画とした。③各市町村の実態を調査し、検討したい。

**問** 県、近隣市町村の動向を踏まえながら制度の充実に向けて検討したい。

**答** ④整備されていないが、介護保険施設に入所されている低所得者には介護サービスがある。⑤調査・検討をしたい。⑥広報紙、回覧等のほか、居宅支援介護事業所へも通知し、周知を図っている。

**介護保険、施設待機者274人、香取市の実態と改善策は**

**答** ①関係機関等の動向をふまえ、方針を検討

**問** 要介護認定の仕組みも改善され「介護難民」など問題点が指摘されるが①貯めこみ基金で保険料の値下げを②施設への待機者対策③保険料、利用料の軽減④居住費、食費の市独自の軽減策⑤福祉用具、住宅改修の受領委任

**答** ①関係機関等の動向をふまえ、方針を検討

**問** 妊婦健診の公費負担が14回に拡大したが本人負担額は重い。①2年後の継続と②完全無料化を求める。

**答** ①関係機関等の動向をふまえ、方針を検討



建設中の「水の郷さわら」

**問** 民間住宅の耐震改修助成制度を早急に整備すべき。

**答** ①7月には県へ共聴施設利用者の立場に立った要望を行い、9月には総務省地上デジタル放送受信者支援センターの支援拡充の要望を行った。②地区代表者及び地区を単位とした利用者全員を対象とした説明会を開催している。

**問** 国交省の地域住宅交付金を活用しての検討を行っている。

**答** ①「道の駅・川の駅」の進捗状況は。②障害者枠もふくめ雇用確保の要望を。③出荷者協議会における手数料が高額との声

**問** 公民館等は生涯学習の場として、各施設の主催により地域に根ざした教室、講座を開催し、毎年多くの市民が参加している。また、各サークルの活動の場としても利用されている。

**答** 合併時において使用料の調整を行ったが、公共施設の使用料については、原則旧料金を適用している。

**問** 公民館等は生涯学習の場として、各施設の主催により地域に根ざした教室、講座を開催し、毎年多くの市民が参加している。また、各サークルの活動の場としても利用されている。

**答** 合併時において使用料の調整を行ったが、公共施設の使用料については、原則旧料金を適用している。

### 公民館などの公共施設は有効に利用されているのか

鈴木和彦 議員

**問** 公共施設とは、公の構造物や建築物であり、これらの施設は市民の社会生活の基盤として、かかすことの出来ない施設である。特に、公民館等の公共施設は、市民の社会生活の向

**答** どの区の施設でも利用が可能となつて

**問** 公民館等は生涯学習の場として、各施設の主催により地域に根ざした教室、講座を開催し、毎年多くの市民が参加している。また、各サークルの活動の場としても利用されている。

**答** どの区の施設でも利用が可能となつて

**問** 公民館等の公共施設を利用したくとも、使用料が高く利用しづらいと、市民の苦情も多い。公共施設は、使っても使わなくとも老朽化し、最後は解体される運命にある。公共施設は使われてこそ本来の使命が生きてくるわけで、使わなければ宝の持ち腐れとなる。これらの公共施設の使用料は適切に検討されているのか。

**答** 合併時において使用料の調整を行ったが、公共施設の使用料については、原則旧料金を適用している。

**問** 公民館等の公共施設を利用したくとも、使用料が高く利用しづらいと、市民の苦情も多い。公共施設は、使っても使わなくとも老朽化し、最後は解体される運命にある。公共施設は使われてこそ本来の使命が生きてくるわけで、使わなければ宝の持ち腐れとなる。これらの公共施設の使用料は適切に検討されているのか。

**答** 合併時において使用料の調整を行ったが、公共施設の使用料については、原則旧料金を適用している。



小見川区事務所

**問** 公民館等の公共施設を利用したくとも、使用料が高く利用しづらいと、市民の苦情も多い。公共施設は、使っても使わなくとも老朽化し、最後は解体される運命にある。公共施設は使われてこそ本来の使命が生きてくるわけで、使わなければ宝の持ち腐れとなる。これらの公共施設の使用料は適切に検討されているのか。

**答** 合併時において使用料の調整を行ったが、公共施設の使用料については、原則旧料金を適用している。

**問** 公民館等の公共施設を利用したくとも、使用料が高く利用しづらいと、市民の苦情も多い。公共施設は、使っても使わなくとも老朽化し、最後は解体される運命にある。公共施設は使われてこそ本来の使命が生きてくるわけで、使わなければ宝の持ち腐れとなる。これらの公共施設の使用料は適切に検討されているのか。

**答** 合併時において使用料の調整を行ったが、公共施設の使用料については、原則旧料金を適用している。

**問** 公民館等の公共施設を利用したくとも、使用料が高く利用しづらいと、市民の苦情も多い。公共施設は、使っても使わなくとも老朽化し、最後は解体される運命にある。公共施設は使われてこそ本来の使命が生きてくるわけで、使わなければ宝の持ち腐れとなる。これらの公共施設の使用料は適切に検討されているのか。

**答** 合併時において使用料の調整を行ったが、公共施設の使用料については、原則旧料金を適用している。

**問** 公民館等の公共施設を利用したくとも、使用料が高く利用しづらいと、市民の苦情も多い。公共施設は、使っても使わなくとも老朽化し、最後は解体される運命にある。公共施設は使われてこそ本来の使命が生きてくるわけで、使わなければ宝の持ち腐れとなる。これらの公共施設の使用料は適切に検討されているのか。

**答** 合併時において使用料の調整を行ったが、公共施設の使用料については、原則旧料金を適用している。

### 小見川文化会館にかわる複合施設の早期建設を

久保木宗一 議員

**問** 小見川地域の中心コミュニティセンター施設として、小見川区事務所を改修するとともに、旧小見川町民会館の建物を撤去し、図書館・保健センター・小見川区事務所・ホールのある公民館等の周辺施

**答** 合併時において使用料の調整を行ったが、公共施設の使用料については、原則旧料金を適用している。

**問** 小見川地域の中心コミュニティセンター施設として、小見川区事務所を改修するとともに、旧小見川町民会館の建物を撤去し、図書館・保健センター・小見川区事務所・ホールのある公民館等の周辺施

**答** 合併時において使用料の調整を行ったが、公共施設の使用料については、原則旧料金を適用している。

債の対象事業とするためには、その裏づけを十分に調査研究し、国・県を説得させる有意義な作文を作成できるか否かにかかっています。が、これは、ひとえに企画部の仕事です。このような結果になったのは、企画部が機能していないのではないか。

**答** 県との協議では観光客に主眼を置いた施設である観光交流センターは特例値の該当要件には合致しないという見解であった。

**問** 現在、企画財政部では事業担当課と協議し、観光交流センター部分につき観光客だけでなく市民相互が理解し合える場とすることや、交通至便な場所に住民サービス機能を持たせることにより、新市の速やかな一体性の確立を図る等を理由として、特例値の該当になるよう協議をしているところである。

**問** 現在、企画財政部では事業担当課と協議し、観光交流センター部分につき観光客だけでなく市民相互が理解し合える場とすることや、交通至便な場所に住民サービス機能を持たせることにより、新市の速やかな一体性の確立を図る等を理由として、特例値の該当になるよう協議をしているところである。

**問** 現在、企画財政部では事業担当課と協議し、観光交流センター部分につき観光客だけでなく市民相互が理解し合える場とすることや、交通至便な場所に住民サービス機能を持たせることにより、新市の速やかな一体性の確立を図る等を理由として、特例値の該当になるよう協議をしているところである。

**問** 現在、企画財政部では事業担当課と協議し、観光交流センター部分につき観光客だけでなく市民相互が理解し合える場とすることや、交通至便な場所に住民サービス機能を持たせることにより、新市の速やかな一体性の確立を図る等を理由として、特例値の該当になるよう協議をしているところである。



# 決算審査特別委員会から

## 総務部関連の事項

**問** 定額給付金事業の進捗状況と残金が生じた場合の精算方法は。

**答** 給付予定金額は13億3478万4千円で、給付済額は8月31日の時点で13億526万8千円、給付率は97.8%である。また、香取市へ事務費、給付費として13億5816万6千円が交付されており、事務費を含む給付予定額13億5028万8163円との差額約780万円については、給付申請期限の10月21日以降、支給額等の確定後に返還する予定である。

**問** 情報管理一般事務費中、通信運搬費2054万8065円の内容は。

**答** 区事務所、公民館施設、学校施設等のオンラインシステムで結ぶためのNTT回線使用料である。

**問** 選挙管理委員会費の電算システム業務支援委託料427万614円は、毎年経常的に必要な経費であるのか。

**答** 公職選挙法により年4回の定時における選挙人の名簿登録及び抄本

等出力作業に伴う経費であり、毎年経常的な経費として支出している。

**問** 地上デジタル放送への移行に伴う情報は、市の広報等で周知されているが、成田空港株式会社共同アンテナ施設を使っている市民は、移行により地上デジタル放送の受信が出来なくなるのではと心配をしている。市内にこの共同アンテナ施設は何カ所あるか。

**答** 成田空港株式会社共同アンテナ施設は63カ所あり、そのうち49カ所は地上デジタル放送が受信できない見込みとのことである。この49カ所については、利用者にとって多額の負担とならずに速やかに移行できるように関係機関と協議をしている。

**問** 消防庁舎建設に合併特例債の充当は出来ないとの一般質問の市側答弁に変更はないか。また、充当できないと断定する理由はどこにあるか。

**答** 建設予定の佐原消防署については、合併時の新市建設計画の中に計画されていないことが、建設理由が老朽化に伴うこ

と、佐原消防署が本部機能を有していないこと、の3点から合併特例債の対象とはならないことを県との協議で確認している。

**問** 何故、佐原消防署に本部機能を移さないのか。

**答** 消防署の本部機能をどこに置くかは、香取広域市町村圏事務組合で決定することであり、組合内での協議を経ることとなる。



佐原消防署

**問** 民間企業への研修の目的と成果は。

**答** 平成20年度から職員研修の一環として実施した事業で、民間企業における接客能力や顧客サービス、コスト削減等を学ぶことを目的とし、千葉そごうへ6名の職員を派遣し、5日間の研修を行った。また、長期の民間研修として、成田空港株式会社へ1年間

の予定で職員2名の派遣を行った。

**企画財政部関連の事項**

**問** 新たに運行が予定される小見川区の循環バス運行事業について、利用者数の見込みと運行方法

**答** 本格運行に向けた実証運行として10月から2路線の運行を予定している。循環バスの採算性は、各路線運行経費の3割程度の収益を予想し、必要に応じて適宜、運行コース、回数等の見直しをしたいと考えている。なお、便数及び運行日は、各路線1日5便を予定し、土曜日、日曜日及び祭日を除き運行する予定である。

**問** 循環バス停留所の名称について、現在、同じ場所でありながら、民間路線バスの停留所と重複していることにより、名称が「忠敬橋」、「新橋本」、「橋元」と三様となっており、地元住民はもとより観光客にも分かりにくいのではないか。

**答** 現地を確認し、路線バス会社とも充分協議を行い、利用者によりやすい名称の統一に努力している。



小見川区循環バス

たい。

**問** 市有土地維持管理費について、市有地の面積と、そのうち処分可能な面積はどのくらいか。また、処分について努力はしているのか。

**答** 普通財産の土地は、香取市全体で54万1592㎡であり、現時点で処分可能とした土地は7カ所で約1万3千㎡である。この土地については、一区画地500㎡以上の未利用地18カ所について平成19年度から市内の公有財産活用検討委員会において検討した結果、今後も活用が見込まれない処分可能地とし、現在境界画定等の作業を行っている。

**意見** 市有土地維持管理費の節減と財源手当の観点から、市遊休地の把握と適正な処分に努力されたい。

**問** 小見川用地活用推進事業について、利用計画と進捗状況は。

**答** 当該用地は千葉県土地開発公社との無償譲渡協定期限が過ぎており、現在、平成23年度末まで期限を延長する方向で土地開発公社と協議をしている。また、この用地は28haと大きな土地であり、文化財等が埋蔵されていることから、利用形態によっては多額の経費が予想され、具体的な利用形態を描くことが難しい状況にある。

**問** 耕作放棄地については、これを非農地化する方向で農業委員会、土地所有者等と協議し、譲渡手続きを進めたいと考えており、譲渡が可能となった部分については、順次受け入れをすることで公社と協議している。

**意見** 有効活用に向け地元住民とも充分協議し、無償譲渡手続きの早期実現に努力されたい。

**問** 山田区事務所施設管理費に土地借上料が257万5500円計上されているが、この内容は。

**答** 山田区事務所の庁舎用地、駐車場用地及び山田区内の鳩山地区にあ

る高速バス駐車場の計14筆にかかる借上料である。

**意見** 借用地としての必要性を充分精査されたい。

**問** 学校跡地について、教育財産として残っているところはあるか。

**答** 学校として使われていない旧学校施設等について教育財産として管理しているものはある。

**意見** 市の保有する普通財産については、財産管理経費削減の観点から売却等を含めた処分を検討されたい。

**問** 一般会計における市税の不納欠損額は2億8663万3888円であり、平成19年度と比較すると1668万4236円、率にして5.5%減少しているものの、時効によるものは8361万2492円、率にして42.6%増加しているが、この対策は。

**答** 現年度分に係る新規滞納者については、早期に解消を図るため督促、文書催告、夜間電話催告、休日臨戸訪問等を実施し納付交渉を行っている。また、滞納繰越分に係る滞納者については、来庁によ

平成20年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の各決算は、休会中、決算審査特別委員会で審査されました。この審査内容と結果は、9月定例会最終日に委員長から報告があり認定されました。報告のなかの主な質疑・意見等の要旨は次のとおりです。

### 決算審査特別委員会委員

委員長	高岡正剛
副委員長	奥村雅昭
委員	田代一男
委員	高木典六
委員	宇野功
委員	金親孝夫
委員	平松大建明
委員	根本太左衛門

る納税相談を積極的に行い、分納等による計画的な納付指導を行っている。今後においても、このような対応を積極的に不納欠損額の減額に努めたい。

**問** 一般競争入札の導入について、対象となる建設工事金額の基準を3000万円以上とした理由は何か。

**答** 一般競争入札の事務手続き等を勘案して月1件〜2件程度の対応が可能と判断し、昨年度の建設工事の金額別発注件数から3000万円以上の入札予定価格を基準額とした。

**問** 合併特例債の執行状況と今後の見通しは。

**答** 合併特例債は合併後10年間で213億8000万円を見込んでいますが、これまでの特例債発行額は37億5840万円で、地域振興基金を除く事業費ベースでは9億840万円となっている。事業の進捗状況については、合併特例債充当事業のハードルが高いことから十分な進捗状況ではなく、平成20年度末で5%の執行状況となっている。

**意見** 合併特例債は財源の重要な部分を占めて

いるものであり、起債を統括する企画財政部は、市町村合併が国・県の指導により推進されてきた経緯を踏まえるとともに、他市の活用例やJR佐原駅舎整備事業を含めて、これまでの活用状況を調査・検証し、起債の事前協議において県側を説得するくらいの気構えをもって、今後の特例債の有効活用に取り組みたい。

**問** 市債の増高に不安を抱く市民もいるが、返還計画はどのようにするのか。

**答** 起債の目的は、施設を利用する住民の将来にわたる負担の平準化を図り、一時的な財源需要に対し効率的な財源手当をすることにある。また、平成20年度の起債残高は、臨時財政対策債が増加したことにより一般会計は増えているが、下水道事業特別会計においては3億4000万円程、水道事業会計では3億7900万円程減少している。今後においても、将来的な償還状況を踏まえて事業の年度間調整を図り、起債残高の推移に配慮していきたい。

**会計課関連の事項**

**問** 地域振興基金の運用はどのようなように行っているか。

**答** 基金等の運用は、香取市資金管理並びに運用基準、香取市債券運用基準により安全で効率的な運用をしている。地域振興基金の基金残高30億円のうち、平成19年度に大阪府公債を10億円、平成20年度に10億

円を購入し、合わせて20億円分の有価証券を保有している。残り10億円については、定期預金での運用をしている。今後においても安全かつ効率的な運用に努めたい。

**市民環境部関連の事項**

**問** 防犯対策事業の光熱水費546万7203円の内訳は。また、防犯灯電料の負担の統一に向けた経過と今後の考えは。

**答** 光熱水費は市が管理している防犯灯1645灯分の電料であり、各区の設置数は栗源区575灯、山田区456灯、小見川区612灯、佐原区2灯である。また、電料の負担の統一については、香取市防犯灯の設置及び維持管理要綱を本年4月1日に制定したが、佐原区の防犯灯台帳が未整備のため、本年度に台帳整備を行い、その後平成22年9月までに各自治会と協議し、平成23年4月1日から統一した負担区分を実施したい。負担区分は、原則として、国・県・市管理の道路に設置してあるものは行政側の負担とし、それ以外は各自治会負担となる。

**問** 火葬場使用料は統一が図られたのか。

**答** これまで東庄町・神崎町と公債費や運営費の負担割合等を含めて協議してきたが、まだ合意に至っていないが、使用料の取扱いについては、ペット分を除き協議が整ったので、12

月定例会に補正予算の提案をしたい。内容については、平成22年1月から、北総斎場又は、おみがわ聖苑を使用する場合、これまで管外扱いであった市民についても各施設の使用料金で利用できる。管内扱いとの差額については一般財源で補填することにした。また、市民への周知については1月15日号の「広報かとり」に掲載し、市のホームページには1月4日から掲載したいと考えている。

**問** 火葬場事業特別会計繰出金が平成19年度に比べ2倍になっているが、理由は何か。また、東庄町の負担割合はどのくらいか。

**答** 平成16年度に借入金された起債5億円の元金償還が平成20年度から始まったことによるものであり、償還額は平成19年度100万円、平成20年度5100万円となっている。また、東庄町の負担割合は31%である。

PTA等の45団体に対し、回収した資源ごみ1キロ当たり3円を支払っている。

**問** 市内2カ所のゴミ処理(焼却)場の処理能力に余裕はあるのか。耐用年数はどのくらいか。また、今後の施設運営の考え方は。

**答** 仁良清掃工場の処理能力は、1日16時間稼働で70トン焼却でき、稼働日数を年間300日として2万1千トンの処理が可能である。平成20年度の搬入量は1万7532・21ト

**問** 健康福祉部関連の事項

**問** 健康調査事業の健康診断の対象者・受診者が少ないが、その理由は。

**答** 健康調査については、平成20年度に老人保健法が高齢者医療確保法に改正されたことにより、健康調査、後期高齢者健康診査事業、特定健康診査業務に分離され、健康審査の対象が生活保護受給者等40歳以上の特定健診に該当しない者となったため、対象者が396人、受診者が18人と少なくなっている。また、肝炎ウイルス検診については、平成14年度から19年度までの6年間に国のC型肝炎等緊急総合対策事業の一環として集団検診を実施したことにより、平成20年度は受診漏れがないという前提で、節目検診として新たに40歳になった方2101人を対象とした。受診者は146人と少ない状況であり、各職場で受診され

る方もいるため対象者の把握に難しい面はあるが、受診率の向上に努めたい。

**問** 不妊治療の医療費助成事業で、平成20年度から対象者の所得制限を650万円から450万円に変更した理由は。

**答** 香取市は独自の制度2年間の助成を行っている。県の助成制度の改正により、平成19年度から助成額が10万円から20万円に引き上げられ、5年間の助成となったことに伴い、県と市の両方の助成が受けられることから、所得の低い層への助成拡大に配慮した。

**意見** 一般的世帯の所得水準から見て、この所得制限では助成対象者の大半が20歳代になってしまっておそれがあり、また、助成申請手続きも事前申請方式となっている。子育て支援の観点から、多くの方が治療を受けられるよう、所得制限と申請手続きの見直しを検討されたい。

**問** 妊婦健康診査は、国庫補助等により実施回数が増加している。国は平成22年度までの補助事業として、市の考え方は。

**答** 香取市は高齢化率が26%を超え、毎年千人以上の人口が減少しているなか、子育て施策を充実させて若い世代を増やしていくことが重要な課題となっており、平成23年度以降の対応について考えていきたい。

**問** 市内に分娩できる医療機関がないことを踏まえ、子育て支援の観点から平成23年度以降も現行の妊婦健診を堅持すべきである。

**問** 佐原保育所は、定員が122名であるが、定員にそった入所者数と云えるか。

**答** 定員の範囲内で保育することが原則であるが、弾力的な対応として、年度当初は概ね15%の定員超過が認められており、年度後半では25%を超えても差し支えないとされている。定員オーバーにより事故が起きないように心がけたい。

**問** 社会福祉センター「さくら館」の利用希望が集中し、利用しにくいとの声を聞くが、状況はどうか。

**答** 利用申し込みは公民館と同様に利用希望日の3カ月前から受付をしており、現在はスムーズな利用状況になっている。

**問** 社会福祉協議会は、どのような団体ととらえたらよいか。また、社会福祉協議会への補助金3956万4千円は協議会の事業全体に対する補助か。事業費に不用額が生じた場合の取り扱いはどうしているのか。

**答** 社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく地域福祉の推進を目的とする中心的な団体であり、極めて公共性の高いものである。また、運営事業補助金の内訳は、旧町の社会福祉協議



北総斎場(香取広域市町村圏事務組合)

**問** 資源ごみ回収奨励金402万5409円の支払先は何処か。

**答** この奨励金は自治会、子ども会及び学校、



社会福祉協議会

**問** 市の学校施設等についてアスベスト含有再調査を実施したが、その結果と対策は。

**答** 再調査を行った17施設のうち基準を超えていたのは山田中学校、栗源中学校、佐原小学校及び現在閉鎖中の与田浦荘の4施設である。対策については、6月に小・中学校のアスベスト除去工事の契約を行い、栗源中学校は完了検査が終了し、佐原小学校、山田中学校については完了検査の書類調整段階にある。

**問** 不登校児童生徒の相談指導を行っている「ふれあいステーション」の設置場所と指導内容は。

**答** 「ふれあいステーション」は佐原区の市役所駐車場隣接地に1カ所、小見川区の区事務所内に1カ所設置している。また、相談指導を行う学校教育相談

員は教員退職者をお願いし、各教科の指導だけでなく、精神的な悩みなどを解消するためのレクリエーション等もとり入れた指導相談を実施している。

**問** 学校給食費の未納対策はどのように行っているか。

**答** 給食費は口座振替により徴収しているが、振替不能の場合は、毎月保護者宛に口座振替不能通知書を学校を経由して配布し、金融機関や市の窓口での納付を依頼している。また、保護者に対しては、口座の残高不足が生じないように、毎月発行の給食献立表に記載して呼びかけている。現在の未納状況は、現年度分で370件である。

**意見** 今後も未納分の徴収に努められたい。

**問** 市民プールの利用者が平成19年度と比較して減少しているが、施設の老朽化や使用に不便があったのではないかと。減少理由について検証したのか。

**答** 7月は好天に恵まれたが、8月後半から天候不順があったため利用者数が減少したものと分析している。また、市民プールは昭和58年度に開園し、かなりの年数を経過しているため劣化が進んでいるが、随時点検及び補修を行っている。また、数カ所で地盤沈下も生じており早急に対応したい。

**問** 小見川スポーツコミュニティセンターのトレーニング室の利用者が平成



小見川スポーツコミュニティセンター

19年度は1977人、平成20年度は8201人と増加しているが利用状況はどうか。

**答** 現在は登録制をとっており1400名程度の登録があり、そのうち60歳以上が約2割になっている。人気のある施設であり、市民が気軽に利用できるような配慮されたい。

**問** 成人教育事業で、家庭員を雇用しているが、指導員の人数、資格、指導内容は。平成20年度は家庭教育指導員3名、社会教育指導員4名を雇用し、勤務体制は指導員1名につき週3日の勤務となっている。

**答** 社会教育指導員は各区の公民館等に配置し、教育委員会主催事業の高齢者学級や幼児学級等の指導助言を行っている。また、家庭教育指導員は、各小・中学校での家庭教育学級や小学校入学前の保護者等に対する家庭教育に関する指導助言を行っている。7名の指導員は、教員等を退職した方

をお願いしている。

経済部関連の事項

**問** 農業経営基盤強化対策事業について、農地の貸借の状況と借上料はどのようになっているか。株式会社等の農業法人へは貸出しはするのか。また、貸借料を市の会計を経由させる理由は。

**答** 農地の貸し手が341人、借り手が129人であり、借上料は標準小作料を基に算出し、平均金額は1万6187円となっている。農業法人の参入については、今後の状況を見て対応したい。また、貸借料は市会計を経由させることにより、市が仲立ちすることで貸し手・借り手の関係が良好に保てる。

**意見** 農業後継者が不足するなかで、農業法人の参入により借上料が増高すると貸借関係のバランスが崩れるおそれがあるので、農業法人の参入には慎重に対応されたい。

**問** 農地・水・農村環境保全向上対策事業について、事業期間は平成19年度から23年度までとなっているが、その後の見直しはどうか。

**答** 事業の開始に当たり国・県からは5年以上行おう旨の説明があり、また、香取市は、県内で事業を実施している約300カ所のうち40カ所を占めており、市長は千葉農地・水・環境保全向上対策協議会の会長も務めていることから、事業の継続に向け、強力

に働きかけていきたい。

**意見** この事業を実施するに当たり、申請書類の作成等が煩雑であるため、市が適切に指導されたい。

**問** 香取市農産物輸出促進協議会への補助金はどの様に使われ、成果はどのようであったか。

**答** 補助金は上海・台湾・香港での商談会への参加のための経費や旅費に使われた。成果としては、台湾へ2・1トンの玄米を輸出した。

**意見** 米の輸出は生産調整、減反と見なされるとはいえ、中国への輸出は困難であり、台湾への輸出も価格、数量は期待できず、現実に香取の米は市場で十分に流通・消費されている。こうした状況を踏まえて、米の輸出については、費用対効果を考えるとともに政府交渉に伴う国の農業施策を注視して、今後の市の農業施策を再検討する必要がある。

**問** まほろばの里案内所の入館者数と地元の小学生を含む利用状況は。

**答** 昨年8月に開館したため準備不足もあり、平成20年度の入館者数は月

平均46人であったが、今年度に入り152人に増加している。利用状況は、地元小学校2校の児童が見学に訪れたほか、少年自然の家主催事業の会場として、また、県の里山フェスティバル、市の森林組合の研修などにも利用されている。今後は、地元の小中学校に有効に利用してもらえよう、教育委員会と連携をとっていきたい。



まほろばの里案内所

**答** 審議会は学識経験者4名、山車関係者2名の計6名により構成され、去る3月17日に審議会を開催し、山車会館の運営状況や決算のほか、今後の運営について意見や提言をいただいた。また、観光客の滞在時間が短いために記念館から山車会館への回遊が少なく、来館に結びついていないため、案内パンフレットやホームページの改善、ビデオ映像の更新等を行い、入館者の増加を図りたい。

**問** 水郷佐原水生植物園の入園料収入が550万円ほど減少している理由は。

**答** 約1万人の有料入園者数の減少に伴うものであり、その原因は、天候不順による団体客のキャンセルや開花時期の遅れ、また、平成17年から発生している花菖蒲の病気による開花不足との風評によるものと思われる。なお、今年度は、平成18年度から実施している千葉大学園芸学部との共同研究による土壌改良により、花の開花状況は改善し、入園者・入園料とも昨年度より増加している。

**要望** 今年度から行った民間への一部業務委託に際し、地元関係者への事前説明がなされなかったことを反省し、今後は事前協議に充分配慮されたい。

**問** 山車会館運営事業について、水郷佐原山車会館運営審議会の委員構成と審議状況は。また、入館者数は伊能忠敬記念館の3分の1となっているが、増やす方策は。

**答** 企業誘致費として約100万円が執行されたが、具体的に何を行ったのか。

**答** 商業・地域活性化の拠点となるべき商業施設を誘致するための基本的調査を実施したほか、庁内の企業誘致を推進するための検討会議を設置し情報の共有化を図った。また、遊休地情報のホームページのリニューアルや商業・製造業・不動産関係の企業訪問を行った。

**問** 街なみ環境整備事業のうち、小野川河畔街路灯の整備状況と今後の計画は。

**答** 平成18年度は中橋から開運橋の間の本宿側に5基、平成19年度はJRの鉄橋から新橋の間の本宿側に5基、平成21年度は本川岸の松川石材店前に1基を設置した。平成22年度以降は、未整備となってい

る新宿側のJRの鉄橋から万代橋の間、白鳥石材店から与倉屋倉庫の間、本宿側の市川米店から伊能農機具店の間への設置を予定している。



小野川河畔街路灯

**問** 町並み保存事業において、今後修理・修景を予定している棟数は58棟で、毎年2棟程度を基本とし助成を行うとのことだが、これでは整備に30年も要することになる。観光振興の面からも事業の促進を図るべきではないか。

**答** 建物の所有者から年申し込みがあり、保存修理を行っている現状である。事業を推進したい思いはあるが、建物の改修を行うには、所有者側の改修時期や資金的な状況が基本的な要件となるため、長期的な視点で引き続き整備に努めたい。

**問** 道路占用料収入について、山田区、栗源区、小見川区の予算現額と調定額に差がある理由は何か。また、市民の財産ともいえる道路の無断占用への対応は。

**答** 平成20年度から、東京電力、NTTの継

続分の電柱占用料については本庁で一括収納することとし、各区では新規分の電柱占用料等についてはのみ取扱うこととなったため差が生じた。また、無断占用に対しては、道路パトロールを行い発見に努め、占用者への指導・徴収に努めている。

上下水道部関連の事項

**問** 合併処理浄化槽設置整備事業補助金において、予算現額と比べて不用額が多いと思われるが、予算見積りが過大ではなかったのか。

**答** 当初予算で90基を計上した。ある程度余裕を持った金額とするとともに、過去の実績を基にして見積もっている。

**問** 農業集落排水事業における処理施設への接続率は。また、接続率の向上を図るべきではないか。

**答** 現在7カ所の処理施設があり、接続率は78.7%となっている。未接続者に対しては、期間を定め職員が戸別訪問により接続の推進を図っている。

**問** 道路占用料収入について、山田区、栗源区、小見川区の予算現額と調定額に差がある理由は何か。また、市民の財産ともいえる道路の無断占用への対応は。



合併処理浄化槽





石綿セメント管の亀裂状況

議案第8号「平成21年度香取市水道事業会計補正予算(第1号)」にかかり、

水道老朽管等の今後の改修計画と新規の水道管布設延長はどのくらいか。香取市全体で老朽管の総延長は161kmで、このうち石綿セメント管が156kmあり、改修は年間に約3km程度に留まっている。現在、石綿セメント管や老朽管の改修については水道基本計画の中で、財政計画等を見極めながら見直しを行っている段階である。

議案第13号 工事施行協定の締結について(成田線佐原駅駅舎合築工事)

議案第12号 香取市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第8号

議案第5号 平成21年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

議案第8号

議案第12号

議案第5号

付託された案件

建設常任委員会

①新要介護認定制度については、国も見直しを検討し、また、政権交代もあることから、この陳情項目2点については、国の動向を見守ってもいいのではないかと。②新政権がよい方向を見出すという楽観的な状況があるが、市議会としてこのような問題があるということの指摘しつつ、国へ意見書の提出をすべきである。③意見 陳情第39号「子ども医療費無料制度早期実現のため国への意見書提出を求めめる陳情」にかかり、①子どもの医療費無料制度早期実現と記載されているが、香取市としてはこれに対応している。また、新政権は子ども手当での創設も掲げていることから、この意見書提出は必要がないのではないかと。②既に各自治体において実施している無料制度を国の制度として創設してほしいという趣旨であり、この願意にそって、国への意見書提出をすべきではないかと。

議案第6号「平成21年度香取市火葬場事業特別会計補正予算(第1号)」にかかり、補正計上された修繕費の修繕内容は、経常的なものか、突発的なものか。当初予算では、1号炉、2号炉とベツト用の火葬炉の修繕費を計上したが、6月に実施した定期検査によりベツト炉の主燃焼室の損傷が激しいことが判明したことから、今回修繕工事を行うものである。おみがわ聖苑の火葬施設は、定期的に点検作業を行っているか。火葬場設備に係る点検は複数回実施しているが、火葬炉については、年2回の点検を実施している。おみがわ聖苑は大切な施設であるので、点検等により適切な維持管理に努められたい。



おみがわ聖苑

議案第11号 香取市交通安全条例の一部を改正する条例の制定について

議案第6号

議案第11号

議案第6号

議案第11号

議案第6号

議案第11号

議案第6号

議案第11号

経済環境常任委員会

議案第6号「平成21年度香取市火葬場事業特別会計補正予算(第1号)」にかかり、補正計上された修繕費の修繕内容は、経常的なものか、突発的なものか。当初予算では、1号炉、2号炉とベツト用の火葬炉の修繕費を計上したが、6月に実施した定期検査によりベツト炉の主燃焼室の損傷が激しいことが判明したことから、今回修繕工事を行うものである。おみがわ聖苑の火葬施設は、定期的に点検作業を行っているか。火葬場設備に係る点検は複数回実施しているが、火葬炉については、年2回の点検を実施している。おみがわ聖苑は大切な施設であるので、点検等により適切な維持管理に努められたい。

議案第11号 香取市交通安全条例の一部を改正する条例の制定について

議案第6号 平成21年度香取市火葬場事業特別会計補正予算(第1号)

議案第11号 香取市交通安全条例の一部を改正する条例の制定について

議案第6号 平成21年度香取市火葬場事業特別会計補正予算(第1号)

議案第11号 香取市交通安全条例の一部を改正する条例の制定について

二つの意見書を政府関係機関に提出しました

(要旨はつぎのとおりです)

義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書 [発議案第2号]

国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう要望するものです。

▲内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

国における平成22年度教育予算拡充に関する意見書 [発議案第3号]

国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であることを再認識され、国財政が非常に厳しい状況の中ではあるが、必要な教育予算を確保することを強く要望するものです。

▲内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

吉川昭治議員に対する辞職勧告を決議

9月2日の本会議に発議案第1号「議員吉川昭治君に対する辞職勧告決議について」が6名の議員から提出されました。

決議は、『本市議会の吉川昭治議員は、平成21年8月6日、親類女性に対する名誉毀損の容疑で逮捕され、同月24日に起訴され罰金の刑に処されるに至った。』

市民の人権を擁護すべき立場にある議員本人がこのような犯罪により処罰されるに至ったことは、本市議会の名誉と権威を著しく傷つけ、市議会に対する市民の信頼を大きく失墜させるものであり、まことに遺憾である。

よって、本市議会は、吉川昭治議員に対して、今回の事態を引き起こした社会的、道義的責任を深く自覚し、速やかに議員を辞職するよう勧告するものである。』

提出者より提案理由の説明があり、採決を行った結果、全会一致で発議案第1号は可決されました。

議会改革検討特別委員長報告

(要旨はつぎのとおりです)

議員定数について

香取市の実態等を総合的に踏まえ現議員定数を減員すべきとし、具体的な定数に言及した意見、また、具体的な定数は示さないものの現定数の減員は必要とする意見がある一方、市民の意見を市政に反映するためには現定数は維持すべきとの意見があった。

また、調査方針として、この特別委員会の設置期限等を踏まえ、この際、一定の方向性を示すべきとの意見と、来年12月の議員改選時までに慎重に検討すべきとの意見があった。

8月25日の特別委員会において、採決を行った結果、賛成多数をもって議員定数を減員することと決定しました。

議会運営について

委員または議員よりの議会運営に関する意見、要望についての検討結果は、次のとおりであります。

- (1) 議会傍聴者への資料配布については、現行の日程表、一般質問通告の配布資料に加え、申し出等により議案等の貸出しをする。
(2) 請願、陳情者の意見陳述については、現行制度の活用を図ることとする。
(3) 会派代表者会議へ無会派代表者の参加については、代表者会議で検討する。
(4) 全員協議会、委員会会議録は、現在全文記載で調製済みである。
(5) 一般質問を議会日程の前部(委員会審査の前)に行うことは、引き続き調査研究のうえ検討する。
(6) 市側の反問権については、引き続き調査研究のうえ検討する。
(7) 一般質問の一問一答制については、引き続き調査研究のうえ検討する。

引き続き『議会改革検討特別委員会』を設置

地方分権時代に対応した議会の役割、議会運営のあり方を検討し、行政改革の推進の一翼を担う市議会として、「議会運営及び議員定数」について調査・検討を行っていく必要があることから、引き続き8名で構成する「議会改革検討特別委員会」を設置しました。

◎設置期間 平成22年9月30日まで

◎検討内容 (1) 議会運営について (2) 議員定数について

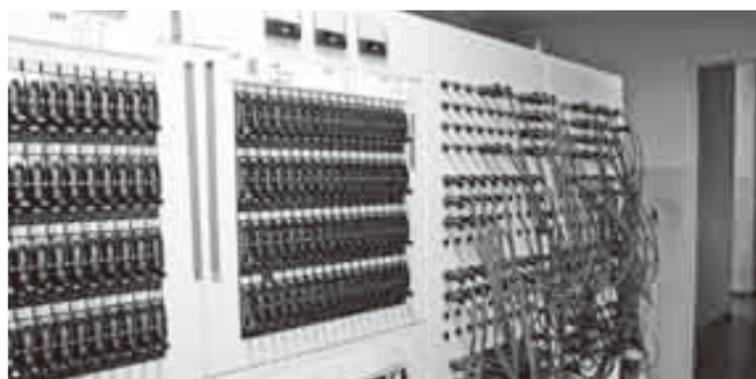
議会改革検討特別委員会

- 委員長 根本太左衛門
副委員長 伊藤友則
委員 林 信行
委員 高岡正剛
委員 坂部勝義
委員 金親孝夫
委員 平松大建明
委員 宇井正一

# 9月定例会 上程議案等議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	平成21年度香取市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第2号	平成21年度香取市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第3号	平成21年度香取市老人保健事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第4号	平成21年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第5号	平成21年度香取市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第6号	平成21年度香取市火葬場事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第7号	平成21年度香取市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第8号	平成21年度香取市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第9号	香取市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第10号	香取市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	香取市交通安全条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第12号	香取市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第13号	工事施行協定の締結について(成田線佐原駅舎合築工事)	原案可決
議案第14号	財産の取得について(防災行政無線戸別受信機 1,473台)	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市佐原イ2番地8 松本 滋)	原案同意
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市下小野756番地 多田 博)	原案同意
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市佐原イ1057番地 小林 尚英)	原案同意
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市牧野1965番地20 久保木 和子)	原案同意
諮問第5号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市みずほ台一丁目1番地123 稲葉 志名子)	原案同意
諮問第6号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(香取市山倉2841番地 藤崎 正男)	原案同意
認定第1号	平成20年度香取市一般会計歳入歳出決算	原案認定
認定第2号	平成20年度香取市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第3号	平成20年度香取市老人保健事業特別会計歳入歳出決算	原案認定

議案番号	件名	結果
認定第4号	平成20年度香取市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第5号	平成20年度香取市住宅介護サービス事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第6号	平成20年度香取市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第7号	平成20年度香取市観光事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第8号	平成20年度香取市下水道事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第9号	平成20年度香取市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第10号	平成20年度香取市火葬場事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第11号	平成20年度香取市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	原案認定
認定第12号	平成20年度香取市水道事業会計決算	原案認定
認定第13号	平成20年度香取市簡易水道事業会計決算	原案認定
発議案第1号	議員吉川昭治君に対する辞職勧告決議について	原案可決
発議案第2号	義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書について	原案可決
発議案第3号	国における平成22年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決
発議案第4号	議会改革検討特別委員会の設置について	原案可決
報告第1号	平成20年度決算に基づく香取市の財政健全化判断比率について	-
報告第2号	平成20年度決算に基づく香取市公営企業会計の資金不足比率について	-
請願第294号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願	採択
請願第295号	「国における平成22(2010)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択
陳情第36号	現行保育制度に基づく保育施策の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	不採択
陳情第37号	国民健康保険制度改善のため国への意見書提出を求める陳情	不採択
陳情第38号	新要介護認定制度の中止・介護保険制度の改善のため国への意見書提出を求める陳情	不採択
陳情第39号	子どもの医療費無料制度早期実現のため国への意見書提出を求める陳情	不採択



佐原文化会館 調光パッチ盤

## 8月臨時会 上程議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	平成21年度香取市一般会計補正予算(第3号)	原案可決

**8月21日 臨時会**  
**佐原文化会館照明設備(調光盤) 改修工事に641万3千円を追加**

「平成21年度香取市一般会計補正予算(第3号)」にかかわらず、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億443万6千円を追加し、補正後の総額を286億1928万9千円とするもので、歳出の内容は、景気低迷に伴う企業収益の悪化による、法人市民税の予定納税に係る過誤納還付金4032万3千円の追加、また佐原文化会館の照明設備について、不具合が生じたため点検したところ、開館から29年が経過し、調光盤の劣化が著しいと診断されたことから、改修工事に641万3千円を追加するものである。これらに対応する歳入については、市債及び繰越金を計上したとの提案理由が市長より述べられました。その後、1名の議員から質疑の後、採決を行った結果、原案のとおり可決されました。

## 市議会を傍聴してみませんか。

次の定例会は11月27日から開催される予定です。日程などのお問い合わせは議会事務局まで  
**TEL 50-1217**

## 市議会会議録がインターネットで閲覧できます。

- 香取市のホームページ、市議会の「会議録」をクリックすると開きますので、ご覧ください。
- 定例会・臨時会の会議録が閲覧できます。
- 単語や発言者などのキーワードを入力、または閲覧年を選択すると、目的の会議録が検索できます。検索システムの更新は、会議録署名議員の署名後に行うため、今定例会会議録の更新は11月下旬になります。
- 香取市のHP <http://www.city.katori.lg.jp/> から市議会のページを選択するか、香取市議会HP <http://www.city.katori.lg.jp/gikai/> からご希望のアイコンを選択して情報をご覧ください